

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

さかした 茂樹 坂下しげき県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

老朽化の出先機関 合同庁舎に集約を

財政の卓越した見識で、県議会の論客として頭角を現している坂下茂樹県議（市川市選出、2期）は2月県議会で一般質問を行いました。壇上、町村役場での旅券発給、危険な通学路の改修など

市川市でモデル事業提案



登壇し、一般質問を行う坂下茂樹県議

2月県議会一般質問・予算委員会

坂下議員 我が国では、過去に建設された公共施設等が老朽化し、これから大量に更新時期を迎えることになる。一方で、これに対する財政は、非常に厳しい状況にある。

財政的な負担を軽減しつつ、必要な施設を維持していく方法として、個々に分かれている施設を統合し、施設の総量を減らし、一つの建物として合理的に建設・管理していくやり方がある。

更に、一つの建物に行政機関が集約された方が県民の利便性が格段に向上する。

そして、現在、市川市では、国・県・市の機関が市内のあるところに点在している状態にあり、経済的にも利便性においても負担が大きく、メリットが全くない。

そこで、国・県・市が共同して、県有地を利用して、保健センター、ハローワーク、税務署、法務局、年

金事務所、裁判所、水道事務所などの機関を統合するような、国のモデルとなるような計画を検討することはできないのか。

総務部長 公共施設の老朽化対策や、それに伴う財政負担の軽減等は、国及び市町村においても共通の課題であると認識しています。国では、こうした課題に効率的・効果的に対応するため、公共施設の建替えの実際には、地方公共団体の施設

私は、平成27年6月議会において、市川市に救命救急センターを整備すべきと質問したが、答弁で、東葛南部保健医療圏における救急医療体制のあり方を検討するとの事だった。現在の状況はどうか。

医療整備課長 東葛南部保健医療圏は、県内で9つある2次保健医療圏の中でも、最も人口が多く、今後高齢化が進むことに伴い、救急搬送がさらに増えるものと考えています。

昨年9月から10月にかけて実施した救急搬送実態調査では、東葛南部保健医療圏の搬送件数は約1万2000件で、前回調査時の平成25年度から約6000件増加しており、救急搬送時間は約40分でほぼ横ばいの結

救命救急センター整備 速やかな善処を要望

坂下委員(予算委員会)
果となっています。

この調査結果を踏まえ、引き続き関係者の皆様方のご意見をうかがいながら、救急医療体制のあり方にについて検討してまいります。

院舎化について、国や市とを進める中で、必要に応じて整備手法の一つとして検討してまいります。

坂下委員(予算委員会)
出先機関の集約化、合同

県においても、本年度策定した「公共施設等総合管理計画」に国及び市町村との連携を位置付けています。

今後、個別の施設計画を策定してまいりますが、そした検討の中で、必要に応じて国や関係市町村と協議を行ってまいります。

協議できないのか。

資産経営課長 県では、公共施設の老朽化対策や、それに伴う財政負担の軽減等を推進するため、本年度策定した「公共施設等総合管理計画」において国及び市町村との連携を位置付けているところです。

坂下しげき PROFILE

■経歴■

- 昭和49年11月 市川市生まれ
- 昭和62年3月 市立曾谷小学校卒
- 平成2年3月 市立第一中学校卒
- 平成5年3月 船橋法典高校卒
- 平成9年3月 日本国文化大学卒
- 平成15年4月 金子和夫県議秘書 市川市議会議員 初当選(2期連続当選)
- 平成23年4月 県議会議員初当選

■現職■

- 県議会 文教常任委員会副委員長

●県政や地元市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき 県議事務所 TEL.047-318-0055 FAX.047-318-0500

坂下しげき県議会リポート

法令・条例上も問題ないと思われるが、設置することができるのである。

副知事 横断幕などの路上広告物については、交通の安全や良好な道路環境を確保するため、原則として横断歩道橋には設置してはならないことになっています。

しかしながら、国や地方公共団体が、公共的な目的をもつて設置する広告物については、構造や色彩などに関して一定の条件を満たす場合には、横断歩道橋への設置を認めることができ

市川市の国分川調節池



市川市の国分川調節池。昨年夏にガマが異常発生した

副知事　国分川調節池について、河川環境の保全に加え、生活環境や防犯上の観点にも配慮し、堤防や公園など人が利用する区域を中心に、県と市川市が分担して、除草を行っています。

望 坂下議員 国分川
調節池の草刈りにつ
いては、部分的な除草は実
施していただいているが、

坂下議員 平成26年度
末に高谷川排水機場が完成し、市川市鬼高地区の浸水被害の軽減に寄与するものと期待していたが、未だ浸水被害が発生している状態で被害をなくすためにも引き続き対策が必要となるが、今後の取り組みはどうか。

は、県の整備目標である時
間雨量50ミリメートルの降雨
に対応できる河川整備を
進め、平成27年3月に高
谷川排水機場が完成しま
した。

備に合わせ、雨水幹線管渠の工事を進めており、完成後、当該幹線から浸水被害地域に向け、新たな雨水幹線の整備を予定しています。

市川市鬼高地域 高谷川排水機場完成も 無くならぬ浸水被害

また、浸水被害の軽減を図るために、河川整備に加え、市川市による公共下水道整備も必要です。

等の横断幕を県が管理する
横断歩道橋に設置し、地域
の特色を広くアピールした
いとの地元要望がある。

坂下議員 市川市はまち、ここに特色ある文化があり、観光資源にもなっているそこで、市の観光イベント

**市の告知横断幕
歩道橋に掲示可能**

までの、地元市から協議があれば、適切に対応してまいります。

行徳橋、妙典橋着々と工事進行

坂下議員 羽田空港・着陸機の南風悪天候時における市川市上空飛行ルートの騒音問題についてうかがう。市内各所から騒音被害が寄せられ、実証データでも騒音の裏付けがされたことから、平成26年12月議会に

おいて、騒音軽減対策について質問を行つたが、その後の状況について、騒音が軽減されているのか。

風悪天候時には安全上の理由から現在のルートを取らざるを得ないとしています。が、住民の騒音負担軽減を図るため、今後も引き続きあらゆる場を通じて国に改善を働きかけてまいります。

校現場での取り組み状況はどうか。

坂下県議の主張

私は、登壇するたびに一貫して申し上げていることがあります。

行政も、議会も県民の方が何を望んでいるのかということを常に追求し、対応していくなければならないということであります。

選択に当たっては県民ニーズを的確に吸い上げ、将来にも責任が持てる県政運営を行わなければなりません。

そして、最少の経費で最大の効果を上げる努力を忘れてはなりません。

道路整備課長 行徳橋について、施行協定に基づき現在、国が橋梁工事を実施しているところです。

ベースで約9割となつていま
す。

川橋梁部の用地については、早期に取得できるよう、引き続き努力してまいります。

今後とも、関係機関と連携し、地元関係者の協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

たに都心上空ルートを示し、都内で説明会を開催しているようだが、千葉県では無かつたと思う。非常に残念。

県からも、このようなことを含め、県民の声を国に確実に届けてほしいところ。

坂下議員 県道船橋行徳線のJAいちかわ原本中山支店前の道路線形の改良について、どのように取り組んでいくのか。

2箇所あり、急なカーブが連続し、見通しが悪いことから、円滑な交通の確保を図るため道路線形の改良が必要であると考えております。このため今年度は、交通量調査を行ったところであります。来年度は、市川市など

関係機関と調整を図りながら、現地測量及び詳細設計を実施する予定でございます。

今までの生活地域が分断され、病院や保育園・学校に行くのに支障が出る恐れがある。

市川IC北側交差点 右折レーンの延長を

とから、交通量が多く、幅
的に渋滞が発生しております。
これまでに、渋滞緩和を
図るため、左折車線の増設
と併せて、可能な限り右転
車線を延伸するなどの、改
良を行つてきたところでし
り、今後は、外環道の供用
に伴う交通の変化を注視し
てまいります。

用地の取得状況は、現在約98%であり、用地が取得できた箇所を活用して、平成27年5月に国道14号との交差点において右折車線と歩道を設置いたしました。

また、立体交差部については、京成電鉄と、設計や施工計画の協議を進めているところです。今後とも、地元市と連携し、事業を推進してまいります。

行徳小学校前交差点 変形交差で危険、改善必要

状況を踏まえた必要性や、地域住民からの要望等を勘案して、整備しているところあります。

一方で、歩車分離式信号機は、車両停止時間が長くなり、渋滞の発生が懸念されることから、歩行者の利用が多く、歩行者等の安全を特に確保する必要がある交差点であるかなど、整備による効果と影響を総合的に検討して、導入の適否を判断しております。

ご指摘の交差点については、平成28年度に交通量調査を実施した上で、歩車分

坂下議員 国道14号市川駅入口の交差点について渋滞緩和対策が必要と考ふるがどうか。

このため、県では、国道14号の4車線化事業のなかで、県道側を改良することにより、食い違いを解消し、交通の円滑化と安全性の向上を図ることとしておりま
す。

なお、市道の改良につい

では、引き続き、市と調整してまいります。

坂下議員 地元住民の方々にとっては、外環道という大きな道路が

**エレベーター
最大限設置を
外環道**

坂下議員 市川線と国道14号が交差する市川広小路交差点において、県道から千葉方面に完全に右折するための路面標示が必要と思うがどうか。

副知事 県道若宮西船寺線と国道14号が交差する

坂下議員 京葉道路市川インター北側交差点の右折レーンについて延長すべきと考えるがどうか。

3・5・26号鬼高若宮線について、踏切等における渋滞を緩和するため、京成電鉄本線の踏切前後約0.5キロメートルの区間で

国道14号市川駅入り口交差点
県道改良し渋滞緩和

県道に右折の路面標示必要

坂下議員 塩道若宮西船
市川線と国道14号が交差す
る市川広小路交差点において
市川広小路交差点についての
は、交通量も多くまた交差点
点が広いことから、千葉左近

木下街道渋滞緩和へ
京成二本木支店協議

国分高校通学路 道幅が狭く危険

車1台がやっと通れる道幅で、大変危険。住民から市川市へ陳情書も提出されている。高校側の空き地を利用して道路を整備できないのか。

に關して依頼等があつた場合には、生徒の安全や授業部活動への影響、グラウンドの使い勝手等を踏まえたながら、協議してまいりたいと考えております。

どの往来をサポートできるよう、エレベーターを最大限設置する必要があると想うがどうか。

副知事 外環道の県内区間には、通学路の安全対策や地域分断対策などを目的とした横断歩道橋が29カ所

計画されています。
このうち、松戸市三矢小台地区、市川市須和田地区菅野地区、平田地区の4カ所には、エレベーターが設置されることになりました。
また、市川市北国分地区など9カ所には、緩やかに

勾配のスロープを設置する予定であると、事業者である国から聞いています。

県としては、外環道の整備とあわせ、安全で快適なまちづくりが進められるよう、引き続き関係機関と連携・協力してまいります。

